

地 球 温 暖 化 対 策 実 施 状 況 書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 （届出者）の名称	医療法人偕行会 名古屋共立病院
地球温暖化対策事業者 （届出者）の住所	名古屋市中川区法華一丁目172番地
工場等の名称	医療法人偕行会 名古屋共立病院
工場等の所在地	名古屋市中川区法華一丁目172番地
業種	医療、福祉
業務部門における 建築物の主たる用途	病院・医療関連施設
建築物の所有形態	自社ビル等（自ら所有し自ら使用している建築物）
事業の概要	医療施設
計画期間	令和4年4月1日 ～ 令和7年3月31日

2 地球温暖化対策実施状況書の公表方法等

公表期間	令和6年7月29日 ～ 令和6年10月27日		
公表方法	○	掲示 閲覧	（場所） 窓口での閲覧
		ホーム ページ	（HPアドレス）
		冊子	（冊子名・ 入手方法）
		その他	（その他詳細）
公表に係る問合せ先	t-kondo@fs-k.co.jp		

3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

地球温暖化対策を推進するの当り、病院内を使用する患者様、職員、関係業者及び関係機関に対し、省エネルギーの教育・指導等を行い地球環境保全について努力をする。

具体的事項

1. 不要時の照明の消灯、パソコン等の主電源OFF、エレベーターの使用制限等を行い、電気エネルギーの使用量の削減に努める。
2. 空調機器の設定温度、運転時間等の適正化を図る。
3. 館内設備の更新時・改修時においては、高効率、省エネ機器を選定。
4. 蛍光灯式照明の不具合時（蛍光灯欠品等）がある場合は、LED式に変更を行う。
5. 環境に配慮した省エネ行動。

(2) 地球温暖化対策の推進体制

委員長：病院長 → 法人本部 総務

↓

副委員長：事務長

↓

委員長：各部 管理部長

↓

推進員：各部署 課長

↓

全職員・関係業者・関係機関

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 2 年度目（令和 5 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		2,564	t-CO ₂
（温室①を酸効除炭ガス換算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）	2,564	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
温室効果ガス総排出量	2,509	t-CO ₂	2,434	t-CO ₂	2,685	t-CO ₂	2,564	t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対 基準年度）			3.0	%	▲ 7.0	%	▲ 2.2	%		%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対 基準年度）						%		%		%

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
原単位あたりの排出量										
削減率（対 基準年度）				%		%		%		%
原単位あたりのみなし排出量										
削減率（対 基準年度）						%		%		%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

令和4年度に対し、エネルギー消費量の削減は実施出来たが、目標に対しては、エネルギー消費機器、使用状況を精査し、目標を達成できる努力を行う。

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
一般管理	・エネルギー使用量の分析の実施 ・電気使用量の見える化	・3年後の3%削減目標に向けて、分析を実施する。	過去のエネルギー使用状況に対し、使用量及び使用方法の分析。
省エネルギー・省エネルギーの省資源の推進・空調	・空調機器等の適正運転・温度の管理 ・更新時には、高効率機器を選定。 ・デマンド制御機器の導入。	・設備稼働状況を監視し、適正温度調整を行う。 ・空調機器稼働時間の調整。	一部、冷温水発生器よりガスチラーへの変更を行い、エネルギー使用効率を変更した。
省エネルギー・省エネルギーの省資源の推進・OA機器	・パソコン等の電源管理。 ・更新時には、省エネ型機器を選別。	・職員が意識し、目標を値に向けて努力を行う。	OA機器等の更新時、省エネ機器を採用。
省エネルギー・省エネルギーの省資源の推進・その他	・昼夜を問わず、照明器具の適正利用。 ・照明器具等のLED化 ・エレベーター等の使用制限。	照明器具等の適正利用、更新時には、LED器具の選定を行う。	照明機器更新時のLED化 不要照明の消灯

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 2 年度目（令和 5 年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区 分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電 力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値（クレジット等）の活用状況

計画期間 2 年度目（令和 5 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

空調機等の更新を行い、高効率機器に変更を実施。 照明機器のLED化の推進。
--

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

職員・関係者への啓蒙活動の実施。
